

バイオ燃料 出光バイオディーゼル5 —B5軽油—



powered by 出光興産



バイオディーゼル燃料5%混合の環境配慮型軽油



植物由来の廃食油を活用

植物由来の廃食油を原料とし、廃棄物の再利用と資源の有効活用を実現します。



CO2排出量削減

通常の軽油と比較して約5%のCO2削減効果があります。



軽油と同様に使用可能

「通常軽油と同等の扱い」のため、エンジンメーカーが保証している燃料となります。

出光バイオディーゼル5のGHG削減効果

GHG排出量 **5%削減** (軽油との比較)

B5軽油は、通常の軽油と同等に扱えるため、エンジンメーカーが保証している燃料となります。また、国際的に求められている Scope 1 (燃料の燃焼時) の温室効果ガス削減にも貢献します。環境に優しく、持続可能なエネルギーソリューションとして、企業の脱炭素化をサポートします。

| | メーカー保証 | 環境 | GHGプロトコル Scope 1 の削減 | 安定供給 |
|------------------------|------------|--------|-----------------------------|----------|
| B5軽油 | ○ | ○ | ○ 5%削減 | △ |
| ICOF：軽油 (カーボンオフセット) | ○ | ○ | × | ○ |
| 軽油 | ○ | × | × | ○ |

■温室効果ガス排出算定の基準「GHG (Greenhouse Gas) プロトコル」

一企業の排出量だけでなく、サプライチェーン全体におけるGHG排出量を対象とした国際的な算定・報告基準を指します。

電気使用に伴う排出 (Scope 2) は自然エネルギーの導入によって着実に削減できる状況になっていますが、燃料の燃焼に伴う排出 (Scope 1) については削減が難しく、脱炭素社会に向けてバイオ燃料の活用が期待されております。



B5軽油の品質特性

B5軽油は、通常の軽油に5%以下の脂肪酸メチルエステル（FAME）を混合した燃料です。国が定める強制規格をクリアしており、通常の軽油と同様に使用することができます。環境に優しく、信頼性の高いエネルギーソリューションとして、企業の持続可能な発展を促進します。

| 軽油の強制規格 | | |
|-----------------|---------------|------------|
| 項目 | 満たすべき基準 | 分類 |
| 硫黄分 | 0.001質量%以下 | 環境（大気汚染防止） |
| セタン指数 | 45以上 | 環境（大気汚染防止） |
| 蒸留性状（90%留出温度） | 360度以下 | 環境（大気汚染防止） |
| トリグリセリド | 0.01質量%以下 | エンジントラブル防止 |
| 脂肪酸メチルエステル | 0.1質量%以下 | エンジントラブル防止 |
| | 5質量%以下 | |
| メタノール | 0.01質量%以下 | エンジントラブル防止 |
| 酸化 | 0.13mgKOH/g以下 | エンジントラブル防止 |
| 酸、酢酸及びプロピオン酸の合計 | 0.003質量%以下 | エンジントラブル防止 |
| 酸化安定度 | 65分以上 | エンジントラブル防止 |

供給スキーム

FAME（脂肪酸メチルエステル）は、各地で調達した廃食用油を使用して製造されています。製造ロットごとにサンプルを採取し、厳密な試験とスペックの発行を行っています。また、季節ごとに異なる「軽油要求品質（1～特3号）」に対応するため、適切な管理基準を設定しています。



供給エリア

その他のエリアでもバイオ燃料供給開始に向けた準備を進めております。



よくあるご質問

Q B5軽油は環境にどのような利点がありますか？

A B5軽油は、従来の軽油に比べて二酸化炭素の排出を削減し、温室効果ガスの削減に貢献します。また、バイオディーゼル成分は再生可能資源から作られているため、持続可能なエネルギー利用を促進します。

Q B5軽油とリニューアブルディーゼルの違いは何ですか？

A B5軽油は、5%のバイオディーゼルと95%の従来の軽油を混合した燃料です。一方、リニューアブルディーゼルは廃食用油や廃動物油などの再生可能資源から製造される次世代型バイオ燃料です。B5軽油は一部のみバイオ由来で、従来の軽油と同様の性能を持ちますが、リニューアブルディーゼルは100%バイオ由来であり、CO₂排出量を大幅に削減できる点が特徴です。

出光バイオディーゼル5（B5軽油）について
詳しい情報、お問い合わせはこちらから ▶



出光エネルギーソリューションズ株式会社